

6.3 ステップ・シーケンス

6.3.1 ステップ形シーケンス制御の概要

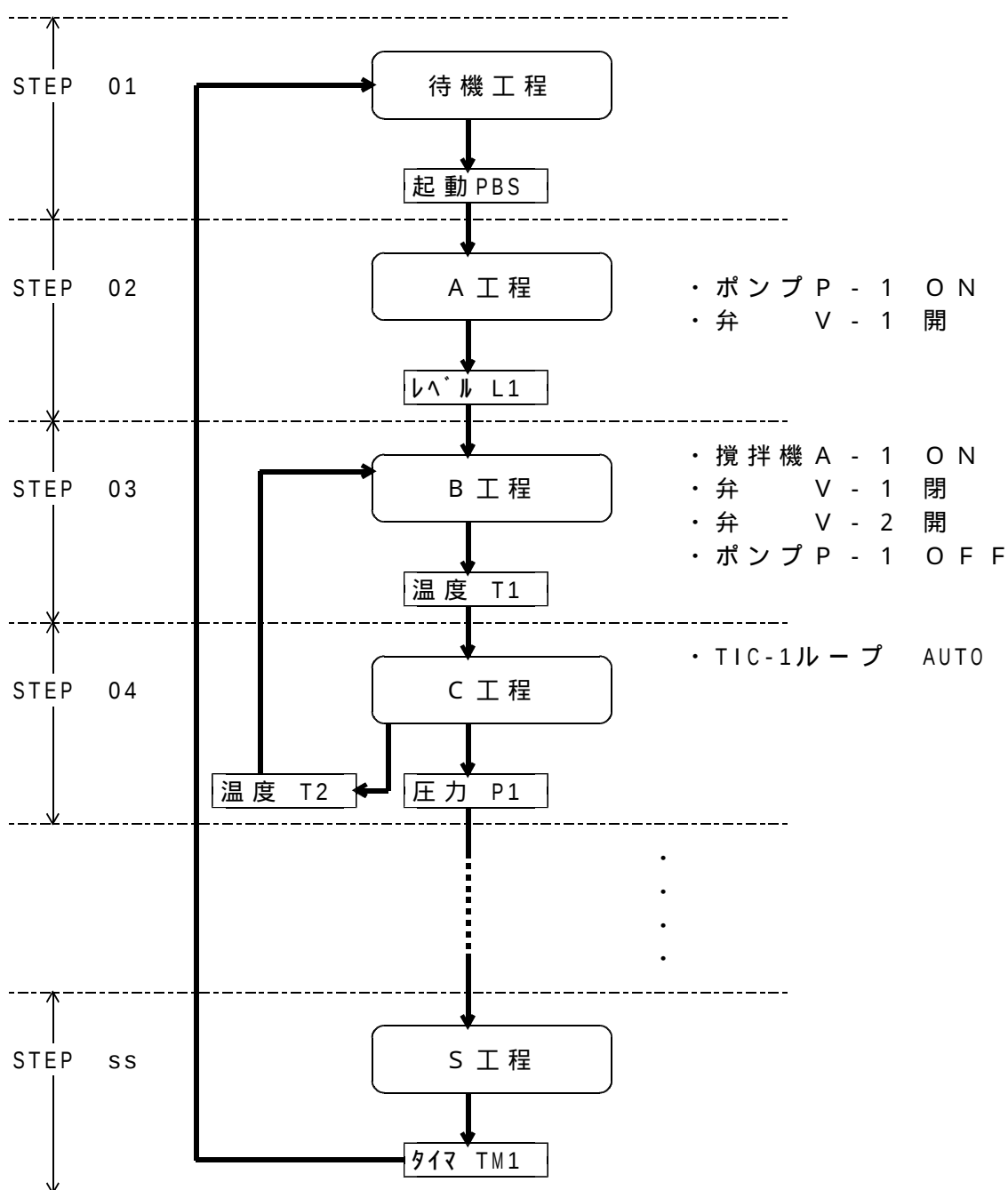
M s y s N e t のシーケンサは、ステップ形シーケンス制御方式が実現できます。ステップ形の意味は、工程歩進形または状態遷移図形と同様です。

順序動作を実行するバッチ・プロセスの動作を最も正確に、しかも簡単に表現する手段は、状態遷移図です。従来から使われているフローチャートでは、バッチ・プロセスの動作を厳密に表現するのは困難です。特に、状態の移行条件を正確に表現しようとする苦勞します。

ステップ形シーケンス制御の記述に必要なコマンドとして下記の5種類を用意しています。

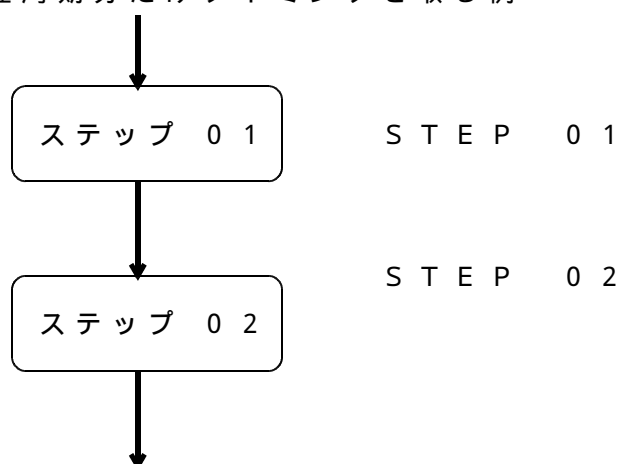
- ・ OUTPUT ON : 一度出力をONにすると次にOFF命令がくるまでONを続ける
 - ・ OUTPUT OFF : 一度出力をOFFにすると次にON命令がくるまでOFFを続ける
 - ・ BRANCH : 指定されたブロックの指定ステップを起動する
 - ・ STEP : ステップ番号を宣言する
 - ・ TIMER : 外部タイマを使用せずにステップ内だけで動作するタイマ
- ステップ歩進形とステップ停滞監視形が選択可能

■ バッチ・プロセスの状態遷移図の表現例

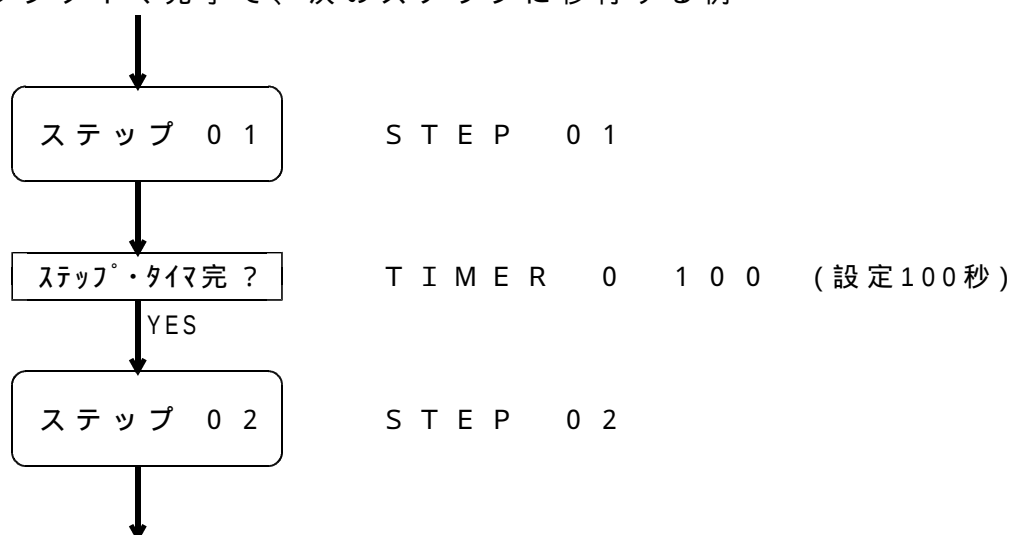


6.3.2 ステップ・シーケンスのコマンド記述方法

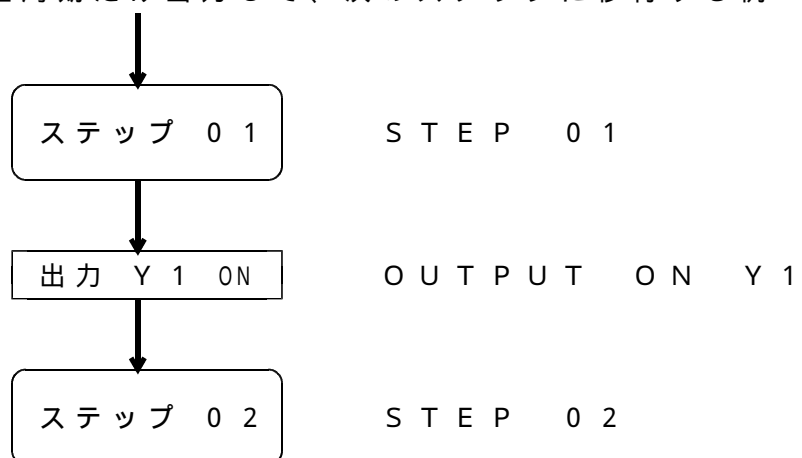
(1) 1 処理周期分だけタイミングを取る例



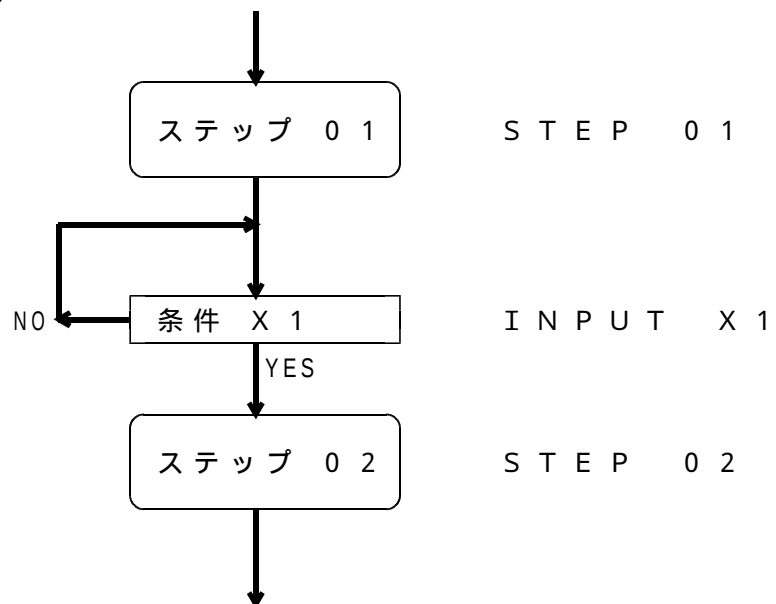
(2) ステップタイマ完了で、次のステップに移行する例



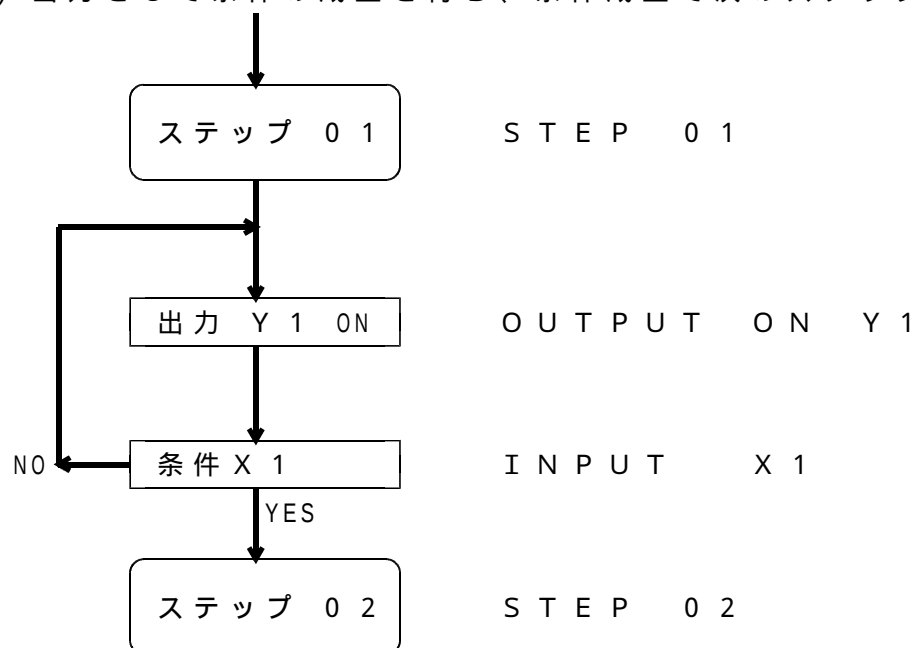
(3) 1 処理周期だけ出力して、次のステップに移行する例



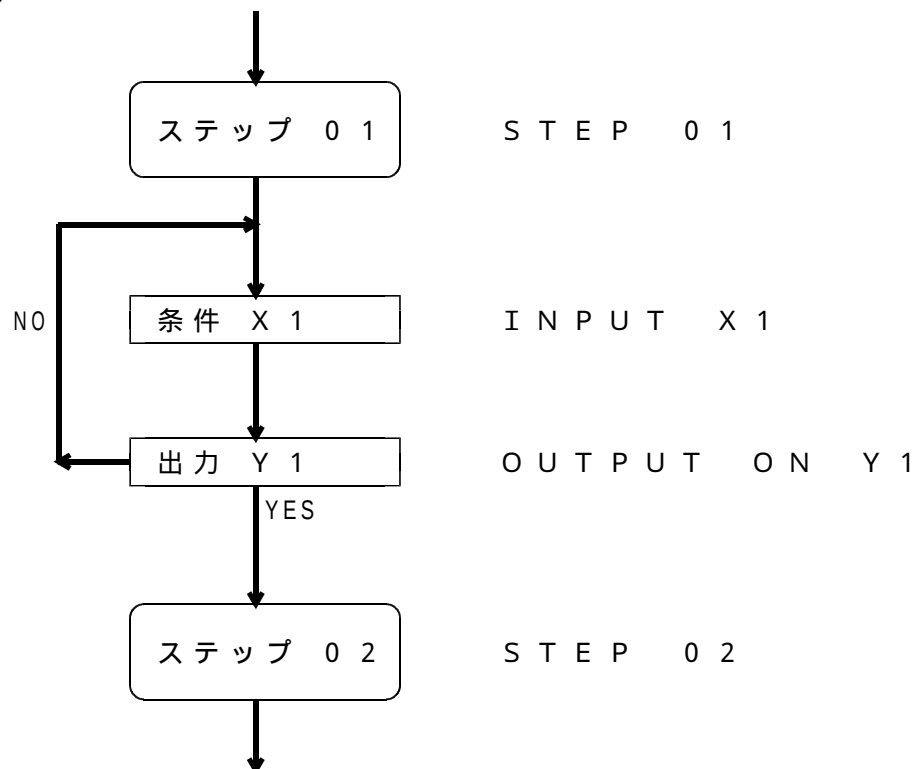
(4) 条件が成立したら、次のステップに移行する例



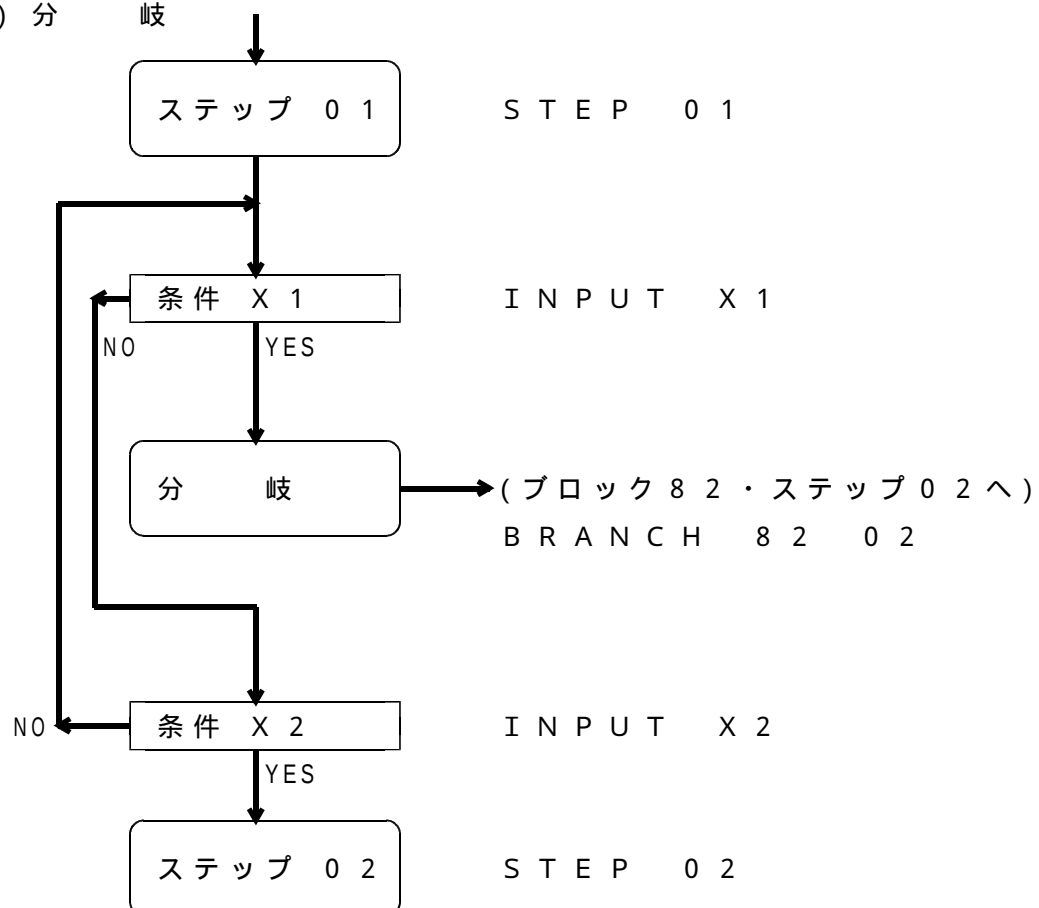
(5) 出力をして条件の成立を待ち、条件成立で次のステップに移行する例



(6) 条件が成立したら出力して、次のステップに移行



(7) 分 岐



(8) 総合動作

